



## 障害児ら待望足和太鼓発足

同市的小学校にある特別支援学級では約20年前から、学習の一環で太鼓を取り入れている。しかし、障害児を受け入れている地域の

自閉症や体に障害がある子どもたちが太鼓を楽しむクラブ「和太鼓キッズてんてこ鼓」がこのほど結成され、亀岡市下矢田町の教育施設「若木の家」を拠点に、練習に打ち込んでいる。

太鼓

### 保護者、情報交換の場に

太鼓クラブが少なく、卒業後は太鼓をたたく機会が減るという。昨夏、太鼓好きの子を持つ保護者から、「障害があつても活動できるクラブはないか」との相談を受け、障害者支援に取り組む亀岡市のNPO法人「ホップステーしょん」が立ち上げた。

参加メンバーには、亀岡を中心に、南丹市や京丹波町からも小学1年～高校3年の計18人が集まつた。練習では、指導に協力する亀岡市太鼓連合会の藤本邦雄会長やボランティアスタッフが拍子の取

り方を実演。続いてメンバーが、力強いばんざあで太鼓をたたく。その間、保護者は別室で悩みなど

丹波



を相談し、情報交換する。

ホップステーしょんの田中弥生代表は「障

の場にもしたい」と話す。

練習は毎月第1日曜

の午前10時から。料

の貴重な余暇活動は少な

いので、気軽に集まる

活動にして社会参加や

外出の機会が増えれば

ば。保護者の息抜き

の場にもしたい」と話す。

問い合わせは田中さん

0771(25)4539。(堀内陽平)



発行所 〒604-8577  
京都市中京区烏丸通夷川上ル

 京都新聞社  
The Kyoto Shim bun Co., Ltd.  
© 京都新聞社 2011年

<http://kyoto-np.jp/>  
番号案内・受付 075(241)5421  
読者応答室 075(241)5421  
ご購読・配達は 0120-464-468